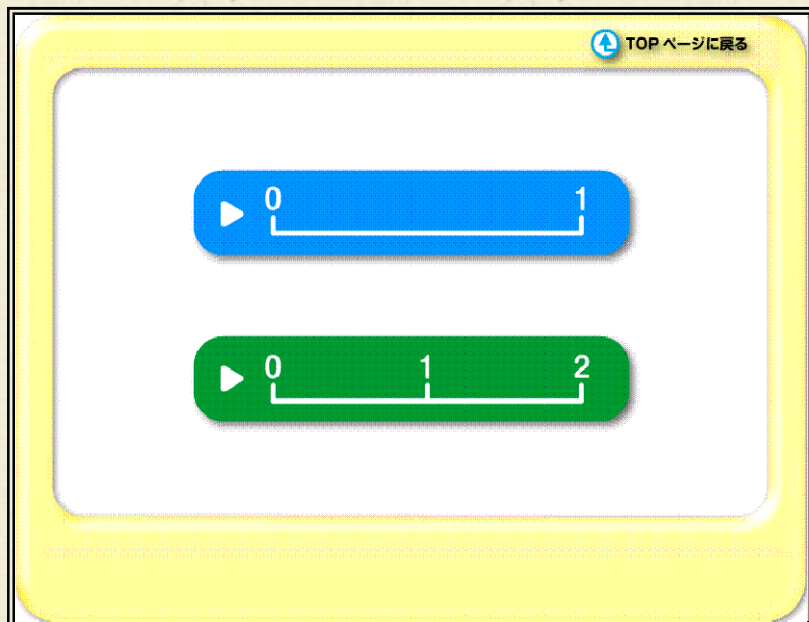


小学校

s 5-4

5 学年

等しい分数



【ねらい】

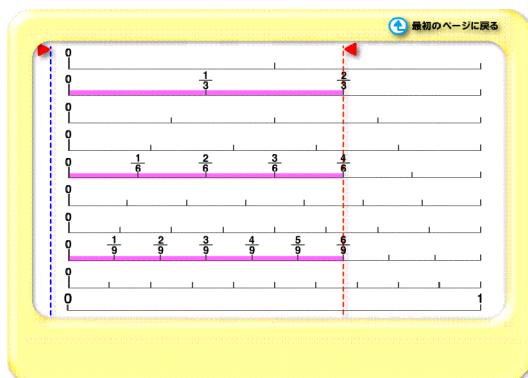
分数についての理解を深めるとともに、異分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を理解する。

【特徴】

- ◇ 分数表は、1までと2までの 2 種類から選択できます。
- ◇ 分数表は、目盛りをクリックすると、テープで示され、分数が表示されます。
- ◇ 赤い点線で等しい分数を見付けることができます。

【関連する単元】

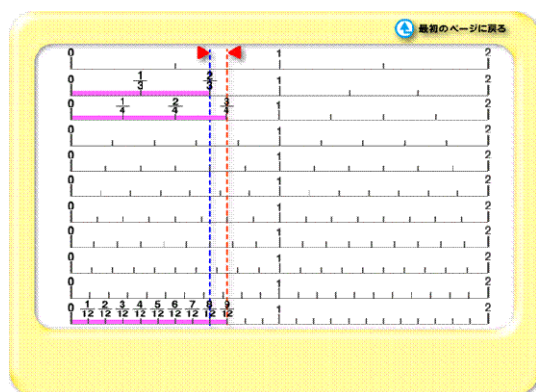
【活用場面】 算数的活動の後の検証、知識・技能の定着



等しい分数を分数表で視覚的に捉えることに有効です

分数表で視覚的に等しい分数を捉えることによって、通分、約分の基礎をはぐくみます。

- ◇ 児童には、「分母が違う数でも大きさの等しい分数をつくろう」という課題を与え、図や具体的な事象を想起させ自由に考えさせます。
- ◇ 考えさせた等しい分数の組を発表させ、交流します。
- ◇ 結果の確かめとしてこの分数表を活用します。
- ◇ 1つの分数をテープで表示し、赤い点線を目盛りに合わせます。
- ◇ 線上にぴったり合った目盛りをクリックするとテープと分数で等しい分数が表示されます。



分母の異なる分数の簡単な加減法を視覚的に捉えさせることができます

分母の異なる分数と共通の分母にそろえて、等しい分数をつくり、1本の線分図に表すことができます。

- ◇ $\frac{3}{4} - \frac{2}{3}$ の場合、分母が 12 になる分数で $\frac{3}{4}$ と等しい分数を見付け、赤い点線を合わせます。次に $\frac{2}{3}$ と等しい分数を、分母が 12 の分数の中から見つけ、青い点線を合わせます。 $\frac{9}{12}$ と $\frac{8}{12}$ に赤い点線と青い点線が合わされ、その間の 1 目盛りの $\frac{1}{12}$ が差となり答えが分かります。